

# 2018年3月期 決算説明資料

極東開発工業株式会社



1

## 極東開発のグループ構成

### 極東開発工業株式会社

#### 特装車事業

86%

##### ■ 製造・販売・サービス

日本トレクス㈱  
極東開発(昆山)機械有限公司 (中国)  
MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD. (インド)  
TREX THAIRUNG CO., LTD (タイ)  
PT KYOKUTO INDOMOBIL MANUFACTURING INDONESIA (インドネシア)  
PT KYOKUTO INDOMOBIL DISTRIBUTOR INDONESIA (インドネシア)

##### ■ サービス

㈱エフ・イ・テック  
振興自動車㈱  
井上自動車工業㈱

##### ■ 中古車販売

㈱FE-ONE

##### ■ 関連

極東特装車貿易(上海)有限公司 (中国)

#### 環境事業

8%

##### ■ リサイクル施設の建設/運転受託・メンテナンス

極東サービスエンジニアリング㈱  
極東サービスエンジニアリング北海道㈱  
㈱モリプラント  
㈱エコファシリテイ船橋

#### 不動産賃貸等事業

6%

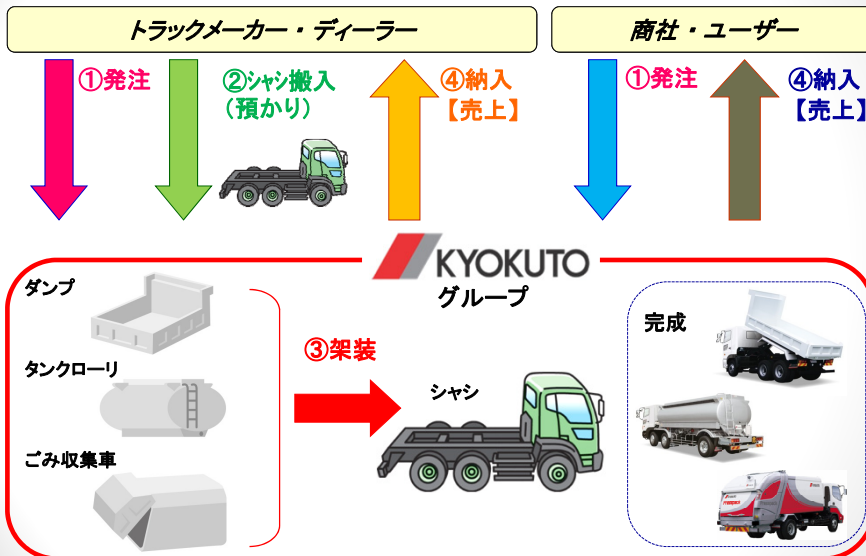
##### ■ 立体駐車装置、コインパーキング

極東開発パーキング㈱  
㈱エフ・イ  
ささしまライブパーキング㈱

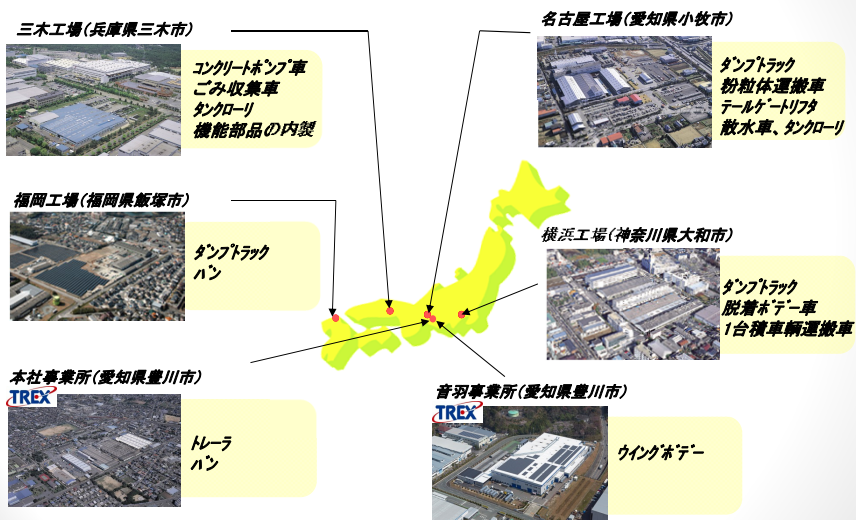
<比率は売上構成比(2018年3月期)>

2

# 特装車事業



# 特装車国内生産体制



## 特装車事業（グループ主力製品）



## 特装車海外生産体制

【インド】MITHRA KYOKUTO SPV CO., PVT. LTD.

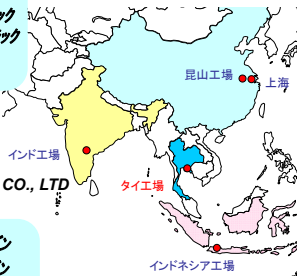


ダンプトラック  
ミキサートラック

【中国】極東開発(昆山)機械有限公司



ミキサートラック



【タイ】Trex Thairung(タイルーン) CO., LTD



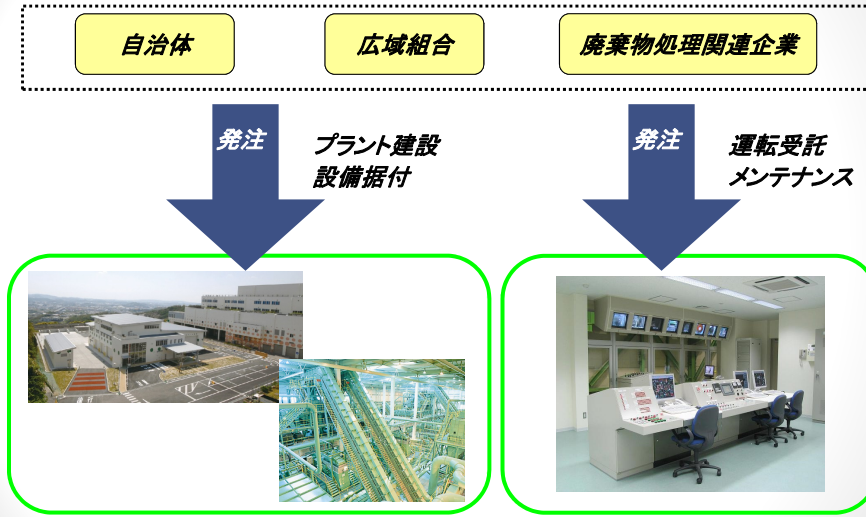
ウイングハン  
10トアハン  
ダンプトラック  
ミキサートラック

【インドネシア】PT KYOKUTO INDO MOBIL MANUFACTURING INDONESIA

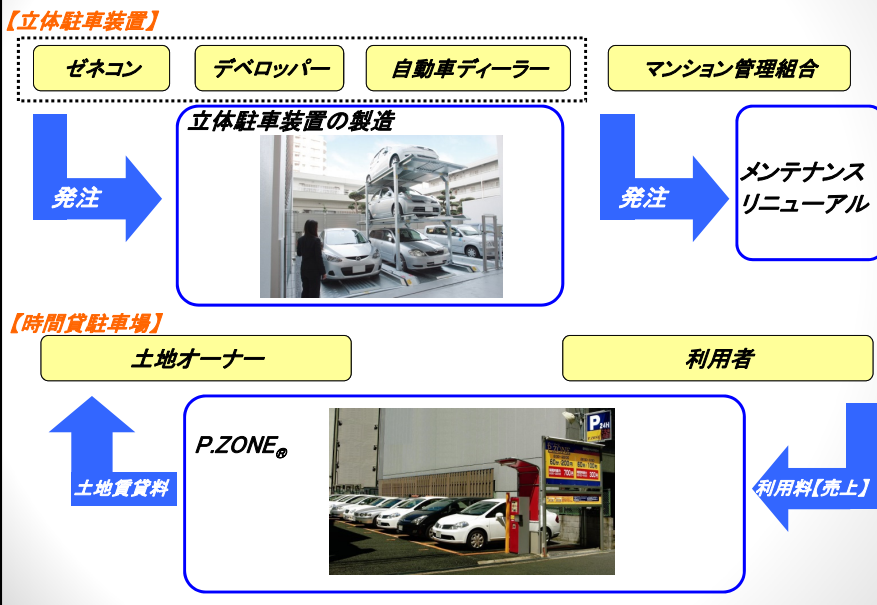


ダンプトラック  
ミキサートラック  
テールゲートリフト

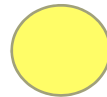
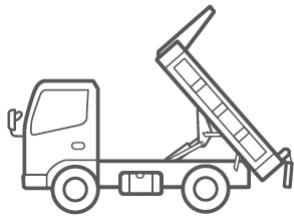
# 環境事業



# 不動産賃貸等事業

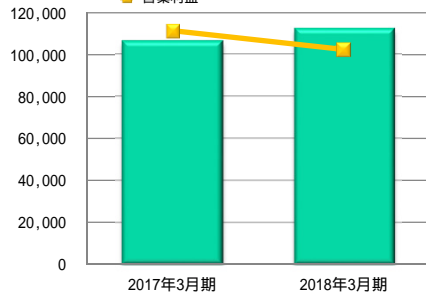


# 2018年3月期 連結決算実績



## 2018年3月期 連結決算

売上高(百万円)  
営業利益



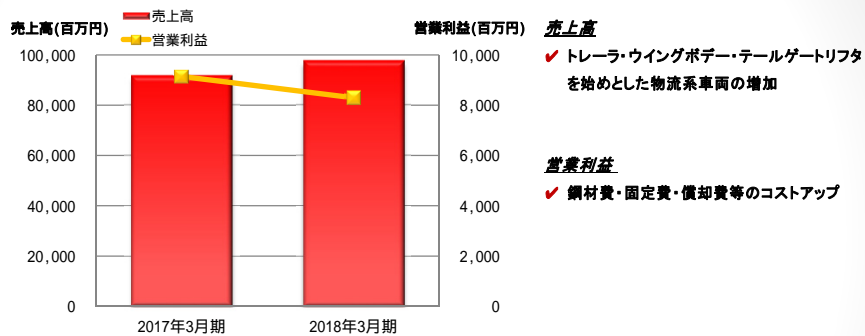
営業利益(百万円)

項目	前年同 期比	増減
<b>売上高(前年比)</b>		
✓特装車事業	+6.4%	+5,866百万円
✓環境事業	△6.3%	△569百万円
✓不動産賃貸等事業	+9.4%	+606百万円
<b>営業利益(前年比)</b>		
✓特装車事業	△9.3%	△851百万円
✓環境事業	+5.2%	+75百万円
✓不動産賃貸等事業	△7.2%	△89百万円
<b>営業外収益・費用</b>		
✓営業外収益		527百万円
✓営業外費用		442百万円
<b>特別利益・損失</b>		
✓特別利益		110百万円
✓特別損失		551百万円
<b>親会社株主に帰属する当期純利益(前年比)</b>		
✓法人税等		+236百万円

	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績	前年同期比増減	
売上高	106,745	112,690	+5,945	+5.6%
営業利益	11,146	10,245	△900	△8.1%
経常利益	10,959	10,330	△628	△5.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,130	7,190	△940	△11.6%

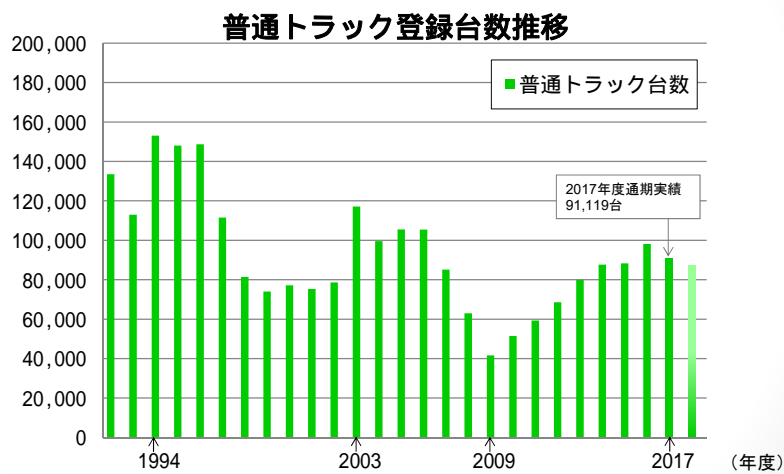
(※売上高は過去最高を更新)

## 2018年3月期 特装車事業

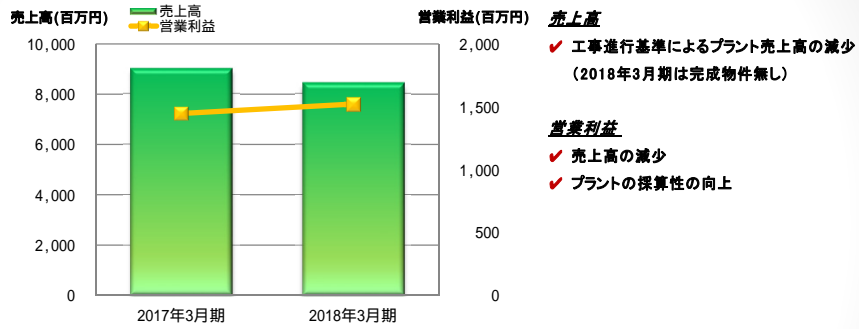


	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比増減
売上高	91,920	97,786	+5,866 +6.4%
営業利益	9,147	8,295	△851 △9.3%

## 2018年3月期 特装車事業（市場環境）

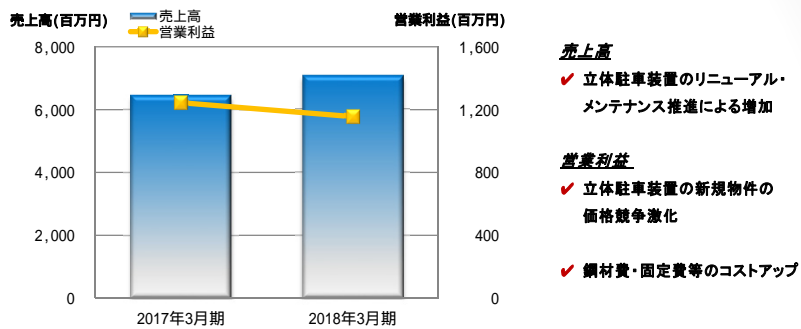


## 2018年3月期 環境事業



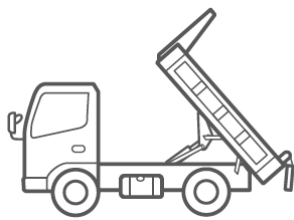
	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比増減	
売上高	9,027	8,457	△569	△6.3%
営業利益	1,447	1,522	+75	+5.2%

## 2018年3月期 不動産賃貸等事業



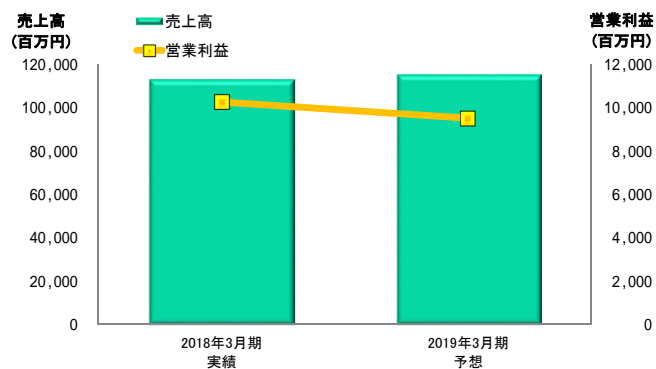
	2017年3月期	2018年3月期	前年同期比増減	
売上高	6,481	7,087	+606	+9.4%
営業利益	1,244	1,155	△89	△7.2%

# 2019年3月期 連結業績予想



15

## 2019年3月期 連結業績予想

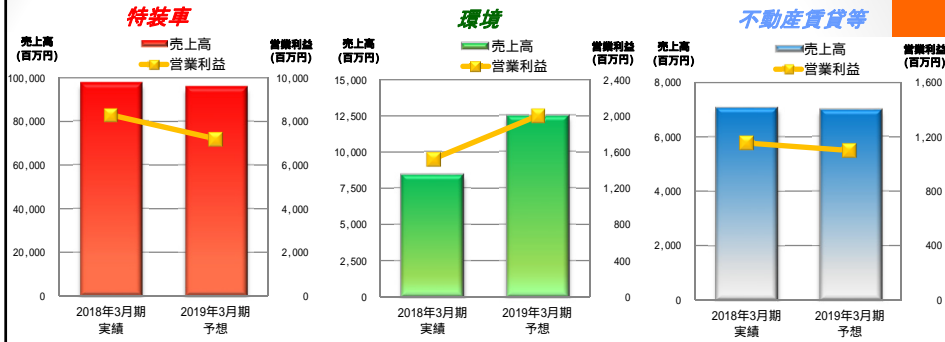


	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	前年同期比増減	
売上高	112,690	115,000	+2,310	+2.0%
営業利益	10,245	9,500	△746	△7.3%
経常利益	10,330	9,500	△831	△8.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,190	6,700	△490	△6.8%

16



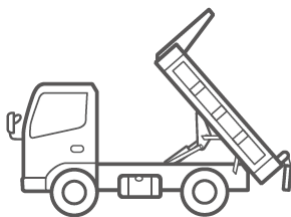
## 2019年3月期 セグメント別予想



		2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	前年比増減	
特装車事業	売上高	97,786	96,200	△1,586	△1.6%
	営業利益	8,296	7,200	△1,096	△13.2%
環境事業	売上高	8,457	12,500	+4,043	+47.8%
	営業利益	1,522	2,000	+478	+31.4%
不動産賃貸等 事業	売上高	7,087	7,000	△87	△1.2%
	営業利益	1,155	1,100	△55	△4.8%
調整額	売上高	△ 641	△ 700	△59	-
	営業利益	△ 728	△ 800	△72	-



## 今後の取り組み



## 設備投資額・減価償却費・研究開発費

	2018.3期 実績	2019.3期 予想
設備投資	31億円	27億円
減価償却費	23億円	25億円
研究開発費	15億円	14億円

## 将来に向けての投資 国内生産体制の再整備



国内需要・製品構成の変化に対応できる効率的な生産体制の構築

赤字:2017年度実施完了案件 青字:現在進行中案件 黒字:実行済案件

## 海外売上の確立

### ● インド工場: MITHRA KYOKUTO

OEM生産量の確保・拡大  
ボデー載替え市場の受注取込み



### ● インドネシア工場: KYOKUTO INDOMOBIL

仕様の見直し、原価低減の推進

製品ラインナップの拡大  
(テールゲートリフター・立体駐車装置・ごみ収集車等)



輸出売上の拡大

- 海外戦略製品の展開  
(コンクリートポンプ車、ごみ収集車)
- 現地架装・販売パートナーとの提携による販売拡大
- 未開発マーケットの開拓

昆山工場  
上海

### ● タイ工場: TTR

生産・販売体制の早期確立

現地調達比率の向上による原価低減  
ミキサー車追加による生産拡大。



既存海外拠点の  
売上拡大・連結化

21

## TOPICS① ピストンクリート® PY165-39

2017年10月16日発表  
/ 10月17日発売



### 【特長】

・国内法規を満たした公道走行可能車両として国内最長となる39メートル級の新開発RZ型五段屈折boomを採用。

・油圧システムに、新開発の「閉回路方式」を採用する事で、国内最大の吐出量165 m<sup>3</sup>/hを実現。

・boomやポンプの設定・稼動状況等を表示するディスプレイシステムを採用。

→ **コンクリートポンプ車のトップメーカーとしてのノウハウと技術力を高次元で融合した新しいフラッグシップモデルとして展開。**

22

## TOPICS② 4トン新型ごみ収集車

2017年11月28日発表

/ 11月30日発売



4トン新型プレス式ごみ収集車  
「プレスパック®」



4トン新型回転板式ごみ収集車  
「バックマン® チルト」

### 【特長】

- ・スライドカバーのワンタッチハンドル、専用設計のLEDリヤランプ、サイドカバーのキャラクターラインなどにより、都市に溶け込む、力強い洗練されたデザイン。

- ・ボデー断面、フロントパネル形状等のボデー構造の最適化により、ボデー容積及び強度・剛性が向上。

- ・投入口幅はクラス最大級の1,700mmを確保し、高い作業性を実現。

➡ **安定的な需要がある環境系車両の拡販とシェアアップを狙う。**

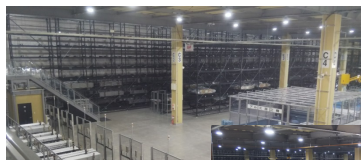
## TOPICS③ 新パワーゲートセンターが竣工

2018年1月22日竣工

/ 1月30日発表



新パワーゲートセンター全景



生産工場

自動倉庫



### 【特長】

- ・事務所棟(3階建)を併設した鉄骨造・延床面積5,775㎡のパワーゲート®専門の生産工場。

- ・アルミ加工機の増設や、自動倉庫および自動搬送台車(AGV: Automatic Guided Vehicle)による場内物流の自動化を実現。

- ・天井サーキュレーションや屋根への遮熱塗装、照明のオールLED化など、現場環境の改善と働きやすさを考慮した設備を採用。

➡ **主力製品のひとつであるパワーゲートの品質および製品力のさらなる向上とシェアアップを目指す。**

## TOPICS④ 日本トレクスに冷凍・冷蔵バン用次世代断熱パネル生産ライン新設



フラットパネルバンセミトレーラ  
(PANECT仕様)

### 【特長】

・関係会社の日本トレクス本社工場(愛知県豊川市)において、欧州製最新鋭断熱パネル生産設備を導入。

・パネル面材に発泡原液を流し込みプレスするウレタンオープンフォーミング工法を国内で初めて車両用パネルとして採用。

・断熱性に優れたウレタン素材の採用により保冷性能は約20%アップ(従来比)、さらに車輛全体の構造を改良し大型クラスで約170kg軽量化(従来比)。

「PANECT®」(パネクト)のブランド名で展開し高付加価値を訴求。

➡ 食品輸送・医薬品輸送などの分野 で今後も安定した需要が見込まれる温度管理車のシェアアップを目指す。

25

## TOPICS⑤ インドネシアにおいて立体駐車装置2号機を受注



インドネシア立体駐車装置初号機

・2017年5月にインドネシアの現地法人(PT. Kyokuto Indomobil Distributor Indonesia :ジャカルタ市)を通じて受注した立体駐車装置の初号機が竣工。

・初号機およびデモ機を使用してPRを行った結果、2018年3月に2号機を受注。

### ・【立体駐車装置2号機詳細】

設置場所:

Jl.Jend.Sudirman Kev.70-71,Jakarta  
(インドセメント本社屋外駐車場)

仕様: 地上四段(4階建)76台

工期: 2018年12月引渡し予定

➡ モータリゼーションの拡大や人口の増加により都市部において駐車場不足の問題が発生しており、立体駐車装置の潜在的な需要が見込まれるインドネシアにおいて、立体駐車装置の更なる拡販を図る。

26

## 2018 NEW 環境展

名称 **2018 NEW 環境展 (N-EXPO 2018 TOKYO)**  
 会期 **2018年5月22日(火)~25日(金) 10時~17時** (最終日のみ**16時**まで)  
 会場 **東京ビッグサイト(東京国際展示場)東展示棟【東2ホールH202】**



新型2トンプレス式ごみ収集車「プレスバック」  
 (左:GB43-220 右:GB59-230)

➡ 4t車と同一のデザインコンセプトの採用で、「極東のごみ収集車」  
 のアイデンティティを確立。



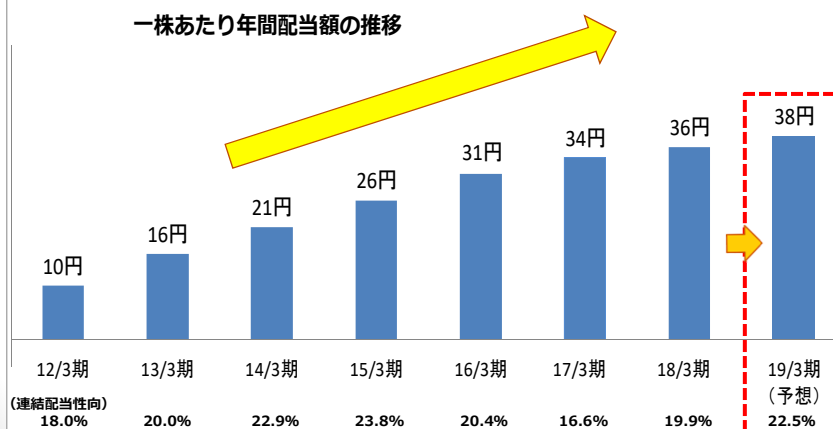
バイオガスプラント  
 (パネル展示)

## 配当政策

### 配当に関する基本方針

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化をはかりながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案して、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めています。

一株あたり年間配当額の推移





本資料の予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。  
実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。  
本資料の著作権は極東開発工業株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く  
本資料を複製・配布することを禁止します。